

会議録要旨

(1) 会議の名称	令和８年度 第１回越前市地域包括支援センター運営協議会
(2) 開催日時	令和８年７月３０日（木） 午後１時３０分～午後３時
(3) 開催場所	市民プラザたけふ ２階大会議室２
(4) 出席委員氏名	野尻 健一郎委員、竹野 恭平委員、宮下 ひとみ委員、佐々木 みゆき委員、 野口 一之委員、杉原 宣子委員、谷口 和正委員、湊崎 幸子委員、竹内 菜 美委員
(5) 欠席委員氏名	なし
(6) 出席所管課職員 職氏名	部長 笹田 和子、課長 笛吹 英史、副課長 岩田 ゆき、副課長 渋谷 絹 代、主幹 河田 聡子、主事 堀江 美沙紅、主事 駒 正晴
(7) 会議議題	(1) 越前市地域包括支援センター運営状況及び事業実績について (2) 令和８年度越前市地域包括支援センター運営方針について (3) 令和８年度越前市地域包括支援センター事業計画及び実施状況について
(8) 傍聴者の数	０名
(9) 会議資料の名称	(1) 越前市地域包括支援センター運営状況及び事業実績について 資料１：チームオレンジ評価表（６包括） 資料２：通いの介護予防教室（３拠点） (2) 令和８年度越前市地域包括支援センター運営方針について 資料３：【抜粋】R8 運営方針 (3) 令和８年度越前市地域包括支援センター事業計画及び実施状況について 資料４：【4.1 時点】高齢者人口【区長割】
(10) 会議の内容の要旨	(1) 越前市地域包括支援センター運営状況及び事業実績について 1. 総合相談支援・権利擁護 単身高齢者や身寄りのない高齢者、8050 問題など複合的な課題を抱える世帯 が増加しており、孤立や生活困窮などの課題が深刻化している。高齢者福祉だ けでは対応が難しい事例も増えていることから、地域での見守りや早期発見、 多機関・多職種との連携強化の重要性が示された。 2. 包括的・継続的ケアマネジメント 困難事例や複雑化したケースが増加し、ケアマネジャー支援の重要性が高ま っている。一方で相談件数の増加により、十分な支援時間の確保が課題となっ ている。地域ケア会議等を活用し、実践的な事例検討によるケアマネジャーの

	資質向上に取り組んでいる。 3. 在宅医療・介護連携 在宅医療や介護保険制度、ACP（人生会議）等について市民への普及啓発を進めているが、前期高齢者を中心に関心が低い状況もみられる。住民が将来の暮らしや医療・介護について早期から考えるため、継続的な啓発活動が必要である。 4. 生活支援推進整備 協議体や地域支え合い推進員を中心に、地域課題の共有や見守り活動、支え合いの仕組みづくりが進んでいる。一方で、担い手不足や事業理解の促進、推進員の負担軽減が課題となっており、持続可能な地域づくりに向けた支援体制の強化が求められている。 5. 認知症施策 認知症カフェや家族支援事業の利用が増加している。当事者や家族の交流の場づくりやチームオレンジ活動を通じ、認知症への理解促進が進んでいる。今後も地域住民とともに認知症を自分事として捉えられる地域づくりを進めていく。 6. 地域ケア会議 身寄りのない高齢者や介護者支援、意思決定支援などの課題について多職種で検討を行った。個別課題を地域課題として捉え、協議体や地域住民と連携しながら、孤立防止や支援体制の構築に取り組んでいる。また、ケアマネジャーの負担軽減やシャドウワークの実態把握にも取り組んだ。 7. 委員からの主な意見 ・地域で助けを求めやすい環境づくりの重要性 ・身寄りのない高齢者や成年後見制度の活用への関心の高まり ・ケアマネジャー支援体制の充実の必要性 ・地域包括支援センターと地域住民、関係機関とのさらなる連携強化への期待
(11) その他	—